

第19回 アートカフェ

「渡り鳥のように絵が描けたなら」

—小川洋子『ことり』を手がかりに、絵を描くことを考える—



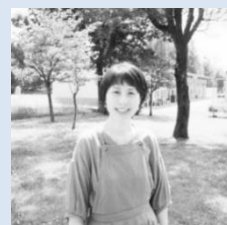
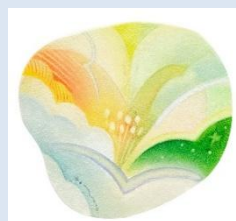
rustyrail

さかい ともみ 先生 画家 / 長岡造形大学職員

油絵と聞くと、みなさんはどんな印象をお持ちでしょうか。

「水彩みたい」とよくと言われる私の作品は、実は油絵具で描いています。長岡でつくられる小国和紙を使った支持体や、作品との関わり方そのものが、この表現を生み出しています。

アートカフェでは、制作の技法や考え方をお話ししながら、小川洋子さんの小説『ことり』も手がかりに、絵を「描くこと」について考えてみたいと思います。



2025年12月13日（土）午後2時～3時30分

会場：ミライエハウス（米百俵プレイス ミライエ長岡 互尊文庫内 3F）

参加費：500円（飲み物付き、下記からお選びください）

定員：30名

申込締切：2025年12月5日（金）但し、定員になり次第締め切りとなります。

申込方法：①お名前、②会員 or 一般、③電話番号、④メールアドレス、⑤希望飲み物、を記載の上、google フォーム、メール（tomo@kenbitomo.org）、FAX（0258-28-4115）

または電話（0258-28-4419、（火）（日）の10:00～15:00）でお申し込みください。

飲み物：ホットコーヒー、玄米野菜茶、玄米野菜ほうじ茶から選択。

会員外の方も参加可能ですのでお友達をお誘いください。



主催：新潟県立美術館 友の会（0258-28-4419）